

伊賀市 事務事業事前評価シート

新規・施設の管理・運営

コード	名称
事業名	2027 本館耐震事業
基本施策	2 身近なところで高度な医療を提供する。

担当部課名	市民病院庶務課
作成者氏名	野口英敏
連絡先	24-1111

事業の計画・内容

設置目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)
受診者、病院事業従事者、市民病院に来院する人		災害時においても、耐震強度が確保され中核病院としての機能が果たせる。
本年度事業内容	平成18年度で耐震調査を実施する。	
運営主体	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 指定管理 民間委託等 (委託先:) 根拠法令・要綱等	
市内の類似施設		

投入資源

	18	19	20
①投入人員			
正規職員 (人)	0.2	0.2	0.2
人件費合計(A)	1,440	1,440	1,440
②支出内訳(千円)			
事業費(B)	5,000	5,000	200,000
委託料	5,000	5,000	
工事費			200,000
その他			
合計(A+B)	6,440	6,440	201,440
③財源内訳(千円)			
特定財源			
国県支出金			
地方債		5,000	200,000
受益者負担			
その他特財			
一般財源	6,440	1,440	1,440
上記①～③に関する特記事項	平成18年度は耐震調査を行い、平成19年度ではこれを受けて耐震実施設計をする。平成20年度では耐震工事を行う。		

活動指標

活動指標	単位	目標値	
		平成	20年度
耐震調査費 事業費 6440千円		耐震調査費 事業費6440千円	
耐震実施設計 事業費 6440千円		耐震実施設計 事業費6440千円	
耐震工事費 事業費 201440千円		耐震工事費 事業費 201440千円	

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H19目標値
昭和53年度における建築基準により設立しているため、現在の建築基準からして耐震基準を満たせない。	各階層により対震度に差があるが、耐震診断により各階層とも負加力を0.72以上とする。		

評価	必要性	有効性	効率性
必要性	4	現在の耐震基準を満たしていない。	
有効性	4	耐震強度が確保されることにより、安全・安心の病院として機能が果たせる。	
効率性	4	補強工事により耐震基準が満たせる。	

総合評価
A

